



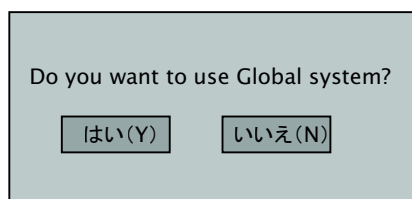
## 2.2 マクロの仕様

《仕様-1》 Utility タグ内のマクロ(User)ページにある **Output** ボタンをクリックすると、下記に示すような局所座標系を選択するパネルが表示されます。

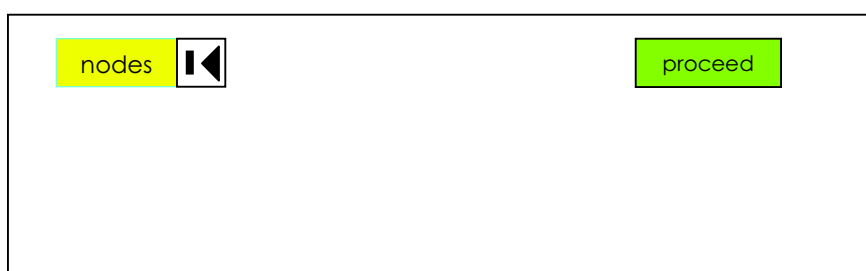


《仕様-2》 画面より、出力する節点が参照する局所座標系を選択します。選択が完了したら **proceed** ボタンをクリックします。

《仕様-3》 座標系を選択せずに **proceed** ボタンを押した場合、下記に示すメッセージウィンドウが表示されます。**はい** をクリックすると全体座標系を選択したことになり、**いいえ** をクリックするとマクロの実行がキャンセルされます。



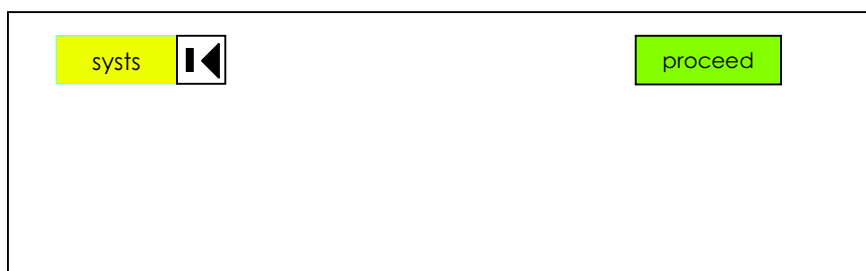
《仕様-4》 続いて下図の様な、節点を選択するパネルが表示されます。画面より節点を選択し、選択が完了したら **proceed** ボタンをクリックします。節点を選択せずに **proceed** ボタンを押した場合、本機能はキャンセルされます。



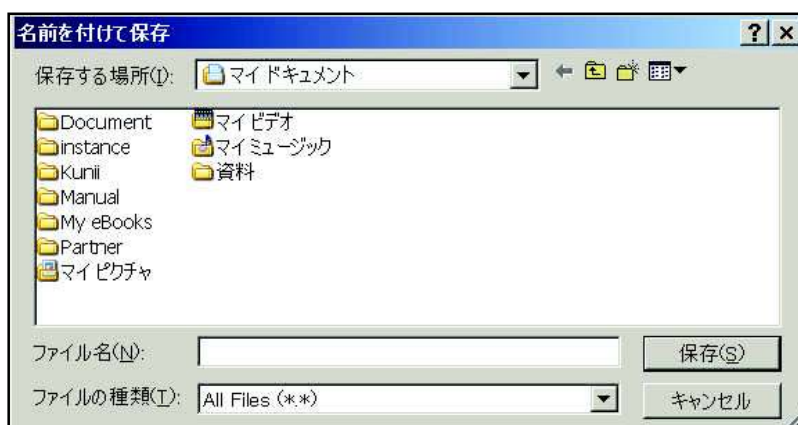


《仕様-5》 再び局所座標系を選択するパネルが表示されます。座標系と節点の選択について交互に、繰り返し指定します。選択が全て終了したら、本パネルにて局所座標系を何も選択せずに **proceed** ボタンをクリックし、《仕様-3》のメッセージウインドウに対し **いいえ** をクリックして選択作業を終了させます。

注) 本パネルで間違えて座標系の選択を行い、次の節点の選択パネルに進んでしまった場合は、節点を選択せずに **proceed** ボタンをクリックして、選択作業を終了させます。



《仕様-6》 引き続き下図の様な、ファイル選択ウインドウが表示されるので、出力するフォルダー及びファイル名を入力します。指定ができたなら、**保存** ボタンをクリックします。尚、**キャンセル** ボタンをクリックすると機能の実行がキャンセルされます。





《仕様-7》 指定されたファイルに対し、下記のフォーマットにて選択された各局所座標系を参照した形式で、各節点の座標値を出力します。尚、全体座標系での値をデフォルトで出力します。

出力フォーマットの詳細:

データタイプ) 節点 ID、第 1 軸座標値、第 2 軸座標値、第 3 軸座標値、座標系 ID、座標系タイプ  
カラム) 整数:10 カラム、実数:12 カラム×3、整数:8 カラム、文字:12 カラム

注 1) 全体座標系の場合は文字で“(Global)”を出力する

注 2) 各カラムは下記のとおり、3 カラムのブランクでデータの区切りとする

注 3) 各カラムは右詰とする

Node ID	Coord 1 Value	Coord 2 Value	Coord 3 Value	Reference CID	
-----5-----+-----5-----+-----5-----+-----5-----+-----5-----+-----5-----+	-----5-----+-----5-----+-----5-----+-----5-----+-----5-----+-----5-----+			-----5-----+-----5-----+	
1000000	31533.990234	-211.524994	1412.218018	(Global)	Rectangular
← 10 カラム	← 12 カラム	← 12 カラム	← 12 カラム	← 8 カラム	← 12 カラム
→	→	→	→	→	→
3 カラム	3 カラム	3 カラム	3 カラム		

《仕様-8》 ファイルに出力する順番は、選択した座標系及び節点をペアと考え、節点を選択した順番に出力を行います。

以上